

(様式1)

平成30年度 学生の自主的活動プロジェクト企画書

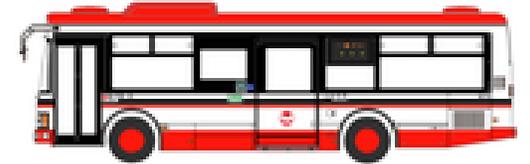
申請者	氏 名	梶原瑛人
	学 籍 番 号	
	学部・研究科名, 学年	

プロジェクトの名称	バスの不安を吹っ飛バス!	申請金額
		150,614円
プロジェクト団体名	松江のバスを救い隊	
目的・理由	松江市の調査によると、バスの利用が進まない要因の一つとして、乗り方など利用の仕方が分かりにくいということに起因する「不安」があげられている。現に松江以外の出身者が大半を占める島大生の中にも(特に留学生などは)こうした不安を抱えている学生は少なくない。今回のプロジェクトはバスの乗り方を分かりやすく学ぶツールとしての説明チラシ(多言語)の作成・配布と子供たちにもわかる紙芝居(特にマナーアップ)の作成・上演で意識啓発を図る。	
活動概要	・6月～8月バスの乗り方についての調査 ・8月～9月紙芝居の作成、日本語チラシの作成と多言語化 ・10月バス祭りでの紙芝居上演、乗り方チラシの試験配布 ・10月～12月乗り方チラシの修正・完成・配布 ・1月～2月活動のまとめ	
主な連携先 (予定を含む。)	松江市交通局, 一畑バス, 松江観光協会, 松江市公民館連絡会(連携予定)	
連携する内容	バスの乗り方に関する調査協力, バス祭りでの紙芝居上演, 乗り方チラシの活用など	
アドバイザー教員	所属部署	氏 名
	法文学部 准教授	飯野 公央
期待される効果	・大学での学びを地域課題の解決に役立てることでさらに学ぶモチベーションが高まる ・地域の諸団体と共同してプロジェクトを進めることで、自分たちの渉外力やコミュニケーション力の向上が期待される ・留学生との共同作業を通じ国際交流と異文化理解が深まる ・バスの乗り方の周知により、特に観光客や外国人、高齢者の利用増が期待される ・子供たちのバスに対する理解とマナーの向上が期待できる	
成果の公表方法	・10月28日(予定)に行われる松江バス祭り紙芝居を上演 ・上演希望の学校・公民館等があれば紙芝居の貸し出しや上演を行う ・乗り方案内チラシは、駅前の観光案内所だけでなく、市内宿泊施設等にも配布し活用を図る ・交通局HPにアップし、より広く一般の利用を図る	

- ※ 1)これまでに関連する取組みや実績が紹介された記事など、参考となる資料があれば添付すること。
2)備品等はカタログ、見積書を添付すること。

アドバイザー教員印	申請者印

平成30年度学生の自主的活動プロジェクト 活動成果報告会



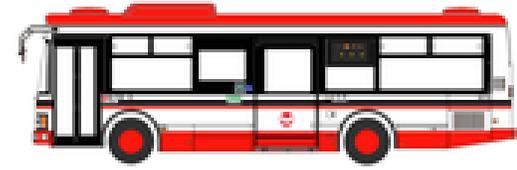
バスの不安を吹っ飛ばす！



日時: 2019年3月8日

会場: 附属図書館多目的室

松江のバスを救い隊



1. 活動内容

松江のバスの利用促進とマナー向上を図るために、

- ①乗らない理由の一つ、乗り方がわからないという不安を払拭するための「乗り案内チラシ(日本語・英語)」の作成と配布
- ②主に子供向けマナー啓発のためのツール(紙芝居)の制作と上演

2. 実施メンバー(松江のバスを救い隊)

島根大学法文学部飯野研究室、小林研究室、安斎研究室、外国人留学生、松江工業高等専門学校漫画同好会

3. 連携先

松江市交通局、一畑バス、松江市交通政策課、松江市観光協会

4. メンバー及び連携機関との打ち合わせ風景(7回)



1. 紙芝居のテーマ、ストーリー、作画検討
2. 乗り案内の内容検討
3. アドバイザー教員との打ち合わせ

5. イオン松江店での上演、第9回まつえバス祭りでの上演

(上段 10月14日来場者130人)

(下段 10月20日メッセ大展示場来場者3,000人)



6. バスの乗り方案内チラシ テスト版作成



バスに乗ってみよう(バスの利用方法) Boarding the bus



1. バスは中央の「乗車口」から乗車します
Enter from the middle door.



2. 整理券を取ります
Take a numbered ticket.



3. 降りる際は、降車ボタンを押します
Push the button when you want to get off.



4. 整理券の番号と運賃を確認します
Check the fare by comparing the number on your ticket to the number on the fare display.

5. 運賃を支払います
Pay the fare in coins.

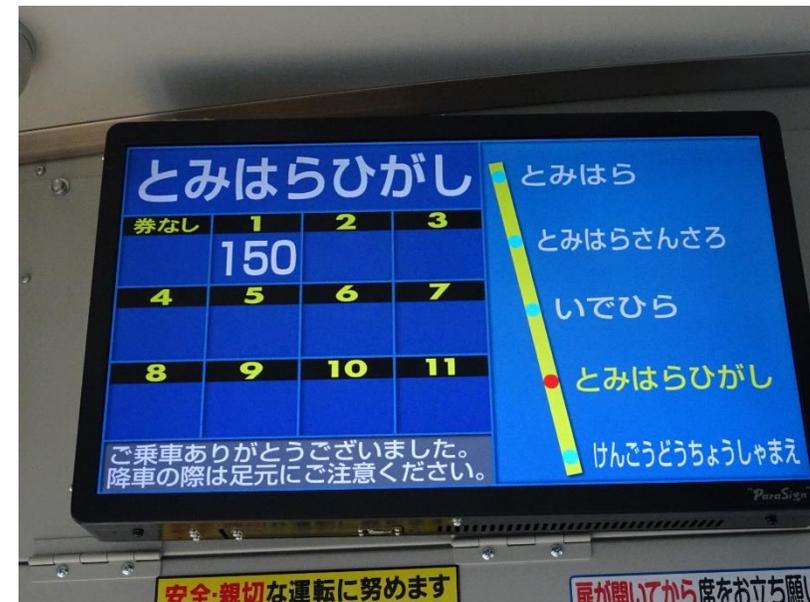


6. 前ドアから降ります
Exit the bus through the front door.



共通2日間パス:4の運賃確認不要、運転手にパスを見せれば下車できます
Lakeline and city bus 2day pass: Skip step#4 if you're using the pass. Instead of paying your fare at step#5, present your psaa to the driver and exit the bus.

7. テスト版を留学生にチェックしてもらったところ・・・



1. バスの行先表示、経由地、車内表示がすべて日本語（漢字またはひらがな）
⇒外国人には判別できない
2. バスの系統番号とバス停番号が一致しない、もしくは系統番号が表示されておらず、乗り場そのものがすぐにはわからない
3. 記号（アルファベット表示や系統番号など）でわかるようにしなければ、外国人にとって路線バスは使えない
バスの乗り方以前の問題が山積！！

チラシ配布を断念！

8. 紙芝居のその後は・・・



松江市役所交通政策課より寄贈依頼。そこで表敬訪問 2019年3月5日



能美副市長(左から3人目)、三島交通局長(同4人目)より感謝状を授与されました



子ども向けに制作した紙芝居を披露する学生たち

紙芝居でバスマナー向上 島根大と松江高専 幼児ら対象に制作

「地域の足」である路線バスの利用促進と乗車時のマナー向上につなげようと、島根大と松江工業高専専門学校の学生3人が、

「地域の足」である路線バスの利用促進と乗車時のマナー向上につなげようと、島根大と松江工業高専専門学校の学生3人が、

「地域の足」である路線バスの利用促進と乗車時のマナー向上につなげようと、島根大と松江工業高専専門学校の学生3人が、

「地域の足」である路線バスの利用促進と乗車時のマナー向上につなげようと、島根大と松江工業高専専門学校の学生3人が、

今後の利活用(松江市より)

- ・紙芝居の動画化と配信
(3月末より作業に着手予定)
- ・市内保育所・幼稚園・小学校への配布
- ・バス事業者によるバスの乗り方教室での活用

山陰中央新報
2019年3月6日掲載

9. 活動を振り返って



① 成果

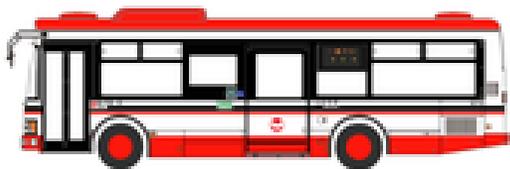
- ・幼児～小学校低学年向けバスマナー啓発教材の開発ができた
- ・行政、事業者との連携によって、紙芝居の活用範囲に広がりがあった
- ・乗り案内チラシの配布は実現しなかったが、松江市交通政策課、バス事業者が外国語表記の問題点を理解し、改善のための準備を約束してくれた

② 問題点や課題

- ・観光や就労で外国人の増加が予想されるなか、受け入れる側の準備不足を痛感
- ・公共交通など、社会インフラにおけるシステム共通化の必要性
- ・バスの不安を吹っ飛ばすのは事業者の努力だけでなく、市民、行政の役割も重要

③ 感想

- ・公務員志望のため、行政職員と長期間活動できたことで仕事の中身をより深く知ることができ、ためになった
- ・アイデアを形にするには様々な関係者との調整や協力が不可欠であると実感した



最後に、このようなチャンスを与えてくださった学生支援課の皆様には感謝いたします。